




## 本山寺常行堂



指定区分	県指定重要文化財(建造物)
読みかた	ほんざんじじょうぎようどう
所在地	美咲町定宗
指定年月日	昭和34年3月27日
解説	天台宗における常行三昧の修練道場としての特殊な構造を持つ建物。方3間、宝形造[ほうぎょうづくり]、茅葺、柱は円柱で、正面及び両側面に無高欄の縁が廻る。内部には来迎壁を設けて仏壇を置いている。寺伝によれば室町時代後期の永正16年(1519)に建立というが、様式手法からは17世紀以前にはさかのぼらないものの、江戸時代の常行堂の形態を伝えるものとして価値が高い。昭和49年(1974)、旧に復する修理を行った。
アクセス方法	JR弓削駅から車で約15分
公開状況	外観のみ
設備	駐車場  トイレ  障害者用トイレ 
備考	